マイナンバーカードと運転免許証の一体化

令和7年3月24日より、マイナンバーカードと運転免許証の一体化手続きが開始されます。

マイナンバーカードに免許情報が記録され、そのカードを「マイナ免許証」と呼ぶこととなります。

マイナ免許証に関する各手続は、マイナンバーカードの住所である住所地公安委員会で行われます。

各手続の際は必ず有効期間内のマイナンバーカードをお持ちください。

山梨県内の運転免許課、同都留分室、各警察署において更新に伴う手続は可能ですが、警察署に限り、手続完了までに2度の来署が必要となります。

○マイナンバーカードをマイナ免許証として利用する方法

マイナンバーカードのICチップに免許証の情報の一部を記録することで、マイナンバーカードをマイナ免許証として利用できるようになります。

マイナ免許証に記載される情報は、

- ・免許情報記録番号
(免許情報記録番号と運転免許証番号は必ずしも同一ではありません。)
 - ・免許の年月日
 - ・免許証の有効期間の末日
 - ・免許の種類
 - ・免許の条件に係る事項
 - ・顔写真
- などです。

○免許AP

マイナ免許証では、申請後、はじめにマイナンバーカードのICチップの空き領域に「免許AP」というアプリケーションをインストールして、免許保有者の顔写真、有効期間、免許種類等といった免許情報を記録することができます。よってマイナンバーカードに免許情報を記録するためには欠かせないアプリケーションです。

○免許情報の表示

マイナンバーカードの券面上に免許情報は一切表示されません。

免許情報を読み取る場合、マイナポータルやマイナ免許証読み取りアプリで確認が可能です。

○免許証の所有パターン

免許証の所有パターンは、次の3パターンから選択してください。

- ・運転免許証のみ保有

- ・マイナ免許証のみ保有
- ・運転免許証とマイナ免許証の両方保有

所有パターンによって、手数料が異なります。

運転の際は、運転免許証又はマイナ免許証のいずれかを必ず携帯してください。

○マイナ免許証を保有するメリット

1 オンラインによる更新時講習の受講が可能

事前に自宅などでオンラインにより更新時講習を受講でき、当日の更新手続に要する時間が短縮されます。

オンライン更新時講習の対象者は、

- ・講習区分が「優良運転者」、「一般運転者」の方（「違反運転者」、「初回更新者」の方は不可）
- ・マイナ免許証を保有者で、有効な署名用電子証明書をマイナ免許証手続場所で提出（6 から 16 桁の英数字のパスワードを提出）し、マイナポータルと連携をした方
- ・講習視聴時に、有効な署名用電子証明書及び利用者証明用電子証明書をお持ちの方
- ・上記条件を満たし、誕生日が令和7年3月24日以降の方です。（受講開始期間同年3月24日）

講習手数料は以下の通りです。

優良運転者、一般運転者ともに 200 円

2 ワンストップサービスの利用が可能

Q：ワンストップサービスとは？

A：住所・氏名・本籍の変更について、市町村への申請届出を行うことにより警察への記載事項変更届が不要になるサービスのことです。

ワンストップサービスを利用できるのは、マイナ免許証のみ保有している方です。

住所・氏名変更のワンストップサービスを利用するためには、マイナ免許証手続場所で有効な署名用電子証明書の提出（6 から 16 桁の英数字のパスワードが提出）及び情報提供の同意手続が必要となります。

本籍変更のワンストップサービスを利用するためには、マイナ免許証手続場所で有効な署名用電子証明書の提出（6 から 16 桁の英数字の暗証番号が提出）及びマイナポータル連携が必要となります。

○マイナ免許証の有効期間

マイナンバーカードとマイナ免許証の有効期間は異なります、それぞれの更新手続を確実に行ってください。

○マイナ免許証を紛失した場合

引き続きマイナ免許証の保有を希望する方はマイナ免許証の再記録（マイナンバーカードを市町村で再発行後、新マイナンバーカードの IC チップに免許証の情報を記録）が必要です。

マイナ免許証のみ保有している方は、マイナ免許証の記録又は免許証の交付（保有状況を運転免許証に変更）を行うまでは運転はできません。

※マイナンバーカードの詳細については、市町村役場にお問い合わせください。